

長崎県における食中毒病因物質の概要 (2024年度)

右田 雄二, 田川 依里, 大串 ひかる, 井原 基, 高木 由美香, 吉川 亮

Prevalence and Etiological Agents of Food Poisoning in Nagasaki (2024)

Yuji MIGITA, Eri TAGAWA, Hikaru OGUSHI, Motoki IHARA, Yumika TAKAKI
and Akira YOSHIKAWA

キーワード：食中毒、カンピロバクター属菌、ノロウイルス、クドア・セプテンブクタータ、アニサキス
Key words : Food poisoning, *Campylobacter* spp., *Norovirus*, *Kudoa septeempunctata*, *Anisakis simplex*

はじめに

1997年5月30日の食品衛生法施行規則改正でノロウイルス (2003年8月29日同規則改正で小型球形ウイルスから名称変更) およびその他のウイルスと腸管出血性大腸菌 (VT産生) が、1999年12月28日には同規則改正によりコレラ菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフスA菌が、2012年12月28日にはクドア、ザルコシスティス、アニサキスおよびその他の寄生虫が食中毒事件票に病因物質として追加された。これらの施行規則改正により、ウイルス性食中毒が位置づけられるとともに、コレラ菌等の4菌種についても飲食に起因する健康被害発生時は、他の食中毒病因物質と同じ措置がとられるようになった。当センターでは保健所との協力体制の下、ノロウイルス及び細菌学的検査を同時に実施している。

本報告では、2024年度に発生した本県食中毒事例と他自治体の関連調査や有症苦情扱いとなった病因物質についてもあわせて報告する。

調査方法

長崎県生活衛生課が取りまとめた2024年度の食中毒発生状況 (長崎市および佐世保市の発生届出分含む) より主要病因物質 (細菌、ウイルス、寄生虫、自然毒および化学物質等) ごとに事件数、患者数および検査数を集計した。さらに当センターが検査にあたった有症苦情および他の自治体の関連調査についても検査状況を取りまとめた。

結果及び考察

1 長崎県内発生 of 食中毒事例

県内で発生した食中毒7事例の内訳を示す (表1)。

(1) 細菌性食中毒

ーカンピロバクター属菌ー

長崎市の飲食店において提供された食事 (焼き鳥、白レバー刺し等) を喫食した2名が発熱、下痢等の症状を呈した。当センターにおいて県立保健所管轄患者1名の病院分離株を同定した結果、*Campylobacter jejuni*であった (事例3)。

(2) ウイルス性食中毒

ーノロウイルスー

長崎市の旅館において提供された食事を喫食した1団体58名中29名が嘔吐、下痢等の症状を呈した。当センターにおいて県立保健所管轄患者5名を検査した結果、すべてからノロウイルスGⅡ遺伝子が検出された。4名はGⅡ.17型であったが、1名は遺伝子量が少なく型別不能であった (事例4)。

(3) 寄生虫性食中毒

ークドアー

長崎市の旅館においてヒラメの刺身を喫食した1グループ13名中9名が下痢、嘔吐、吐き気等の症状を呈した。ヒラメの検査は長崎市保健環境試験所が実施し、クドア遺伝子が検出された。当センターにおいて県立保健所管轄患者3名を検査した結果、いずれの便からもクドア遺伝子が検出された (事例7)。

ーアニサキスー

アニサキスによる食中毒は西海市1名、島原市1名および長崎市2名の患者が発生した。いずれの事例も魚介類の生食が確認され、医療機関でアニサキス虫体が検出された(事例:1、2、5、6)。

(4) 自然毒・化学物質による食中毒

発生はなかった。

2 有症苦情および他の自治体の関連調査

2024年度の本県の食中毒件数は7件と例年よりも

少なかったが、有症苦情および他の自治体の関連調査12件と多く検査対応にあたった(表2)。特にノロウイルスと病因物質が特定されても原因施設と疑われた飲食店との疫学的な関連性が不明瞭な事例が多くみられた。

謝 辞

本調査を遂行するにあたり、種々の情報を提供していただいた長崎県生活衛生課、長崎市保健環境試験所、長崎市保健所、佐世保市保健所および県立各保健所の関係各位に深謝する。

表1 長崎県内の食中毒発生状況および病因物質 (2024年4月～2025年3月)

事例 No.	発生 年月日	発生 場所	摂食 者数	患者 数	原因施設	摂食場所	原因食品	病因物質	検 出 / 体 数	検体	備考
1	2024/4/8	西海市	1	1	事業場	家庭	店舗で加工 (しめ鯖)	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者から アニサキスを摘出
2	2024/4/22	島原市	2	1	不明	家庭	不明 4/20 (刺身盛り)、4/21 (しめ鯖)を喫食	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者から アニサキスを摘出
3	2024/7/30	長崎市	2	2	飲食店	飲食店	飲食店で調理、提供された食品 (焼き鳥、白レバー刺し等)	<i>Campylobacter spp.</i>	1 / 1	便由来分離株	〔長崎市関連調査〕 <i>C. jejuni</i>
4	2024/12/15	長崎市	58	29	飲食店	旅館・ホテル	飲食店で調理、提供された食品 (刺身、揚げ物、焼き物等)	<i>Norovirus</i>	4 / 5	喫食者糞便	〔長崎市関連調査〕 G II. 17
5	2024/12/18	長崎市	2	1	飲食店	飲食店	にぎり寿司 (あじ)	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者から アニサキスを摘出
6	2025/1/26	長崎市	1	1	飲食店	旅館・ホテル	刺身盛り	<i>Anisakis simplex</i>			医療機関で患者から アニサキスを摘出
7	2025/2/2	長崎市	13	9	飲食店	旅館・ホテル	ヒラメの刺身	<i>Kudoa Septempunctata</i>	3 / 3	喫食者糞便	〔長崎市関連調査〕 ヒラメからクドア遺伝子を検出 (長崎市保健環境試験所対応)

※本表は、県民生活部生活衛生課の食中毒発生状況一覧表 (長崎市、佐世保市発生分含む) から作成した。 ※※病因物質の検出数は、環境保健研究センター保健科対応事例のみとした。

表2 有症苦情および他の自治体の関連調査の概要 (2024年4月～2025年3月)

No.	発生 年月	管轄 保健所	検出された 病因物質	検 出 / 体 数	検体	備考
1	2024/5/22	長崎市	<i>Norovirus</i>	6 / 6	喫食者糞便	〔長崎市関連調査〕 有症苦情
2	2024/5/23	県央	—	0 / 1 0 / 4	喫食者糞便 従事者糞便	有症苦情
3	2024/8/10	県央	<i>Norovirus</i>	0 / 3 1 / 3	喫食者糞便 従事者糞便	有症苦情
4	2024/10/3	杵岐	<i>Clostridium perfringense</i> , CPE+ <i>Staphylococcus aureus</i> <i>Norovirus</i>	3 / 27 3 / 3 1 / 27	喫食者糞便 喫食者吐物 従事者糞便	病因断定不可
5	2024/10/7	対馬 杵岐	—	0 / 14 0 / 19	喫食者糞便 従事者糞便	有症苦情
6	2024/11/18	県央	<i>Campylobacter spp.</i>	1 / 2	喫食者糞便	〔大分県関連調査〕
7	2025/1/12	県央 県南	<i>Norovirus</i>	6 / 7	喫食者糞便	〔長崎市関連調査〕 有症苦情
8	2025/1/27	県央	—	0 / 1	従事者検便	〔鹿児島県関連調査〕
9	2025/2/17	県央	<i>Norovirus</i>	1 / 1	喫食者糞便	〔福岡県関連調査〕 食中毒
10	2025/3/2	県南	<i>Norovirus</i>	1 / 6	従事者検便	〔熊本県関連調査〕 原因不明の有症苦情
11	2025/3/2	県南	<i>Norovirus</i>	16 / 17	喫食者糞便	有症苦情
12	2025/3/16	県央	—	0 / 1	喫食者糞便	〔長崎市関連調査〕 有症苦情

※ 本表は、県民生活部生活衛生課から提供された有症苦情・関連調査の情報から作成した。

※※ 病因物質の検出数は、環境保健研究センター保健科対応事例のみとした。